

FUJI BUSINESS REPORT

FUJI ビジネスレポート

第53期 第2四半期累計期間

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



名古屋事業所 西館
(2017年8月竣工)

夢見る人に次々と。

ヒト味違う“オモシロ”さ！

 株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場
(証券コード 6257)

稼働力の追求と利益体質の強化のため 「変わる挑戦」を推進してまいります。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

株式会社藤商事は、ものづくりに対する今までの常識や慣習にとらわれず、自らが変化に順応する「変わる挑戦」を掲げ、ファンの皆様を魅了する遊技機の開発に取り組んでまいりました。

今後も、稼働力の追求と利益体質の強化のために「変わる挑戦」を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **井上 孝司**

上半期での課題に対する取り組み状況と業績についてご報告します。

当社は、当期の重点課題として『開発力の強化』と『利益体質の強化』を掲げております。

『開発力の強化』に対する取り組みとしましては、パチンコホールにて長期間の稼働を維持できる稼働力の向上をはじめ、パチンコで実績あるタイトルをパチスロで市場投入していくティアアップ戦略や、斬新な演出・アイデアなどの採用、差別化された商品性の実現などです。

まず稼働力の向上については、上半期に発売したタイトルの半数以上が当社の設定した稼働目標をクリアしており、当社が狙いとする稼働力の向上に向けた開発ノウハウの蓄積に手応えを感じております。また、ティアアップ戦略においては「リング」「地獄少女」などパチンコで実績あるタイトルをパチスロでも開発・シリーズ化することにより、販売台数の確保に努めました。

斬新な演出・アイデアなどに対する取り組みとしましては、パチンコの新本体枠にて「CRリング 終焉ノ刻」から採用した「専用サイドユニット」によるギミック演出や、パチスロ新筐体では業界初の「風」(ラッキーエア)による大当たり演出、そしてパチンコホール様の利便性を高める「分離筐体システム」の導入など、差別化された商品性の実現に向けて取り組んでおります。

一方で『利益体質の強化』につきましては、リユース活動のさらなる推進とともに、機種開発から部材調達、製造、営業活動に至るまでのトータル的なコストコントロールを強化する取り組みを進めております。また、8月に名古屋

事業所に西館が竣工し、開発部門のフロアを移設したほか、従来と比較して3倍以上の生産能力を有するパチスロ遊技機の生産ラインを新設したことにより、業務効率や生産能力のさらなる向上を図りました。

この結果、上半期の業績につきましては、売上高295億53百万円(対前年同期比40.2%増)、営業利益41億73百万円(同250.9%増)、経常利益42億58百万円(同257.8%増)、四半期純利益27億6百万円(同214.5%増)となりました。

下半期につきましても、ファンの皆様、パチンコホール様にご支持いただける商品・サービスの提供に努め、通期の業績計画の達成に向けて、鋭意取り組んでまいります。

株主還元について

当期の中間配当金につきましては、継続した配当の基本方針に基づき、1株当たり25円とさせていただきます。この結果、平成30年3月期の1株当たりの期末配当金は普通配当25円、年間配当金は中間配当金と合わせ50円といたします(※)。なお、資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行および株主の皆様への利益還元策の一環としまして、本年7月31日に自己株式100万株の取得を実施いたしました。

今後とも、株主の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※本件は平成30年6月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。



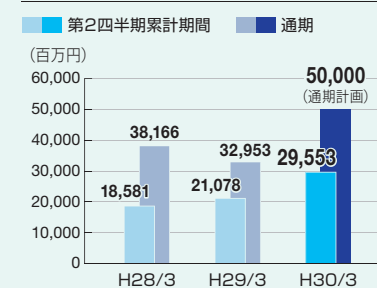
財務の詳細は当社ホームページの「投資家情報」をご覧ください。

藤商事 検索

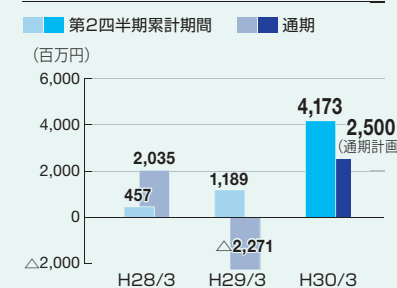
上半期決算のポイント

パチンコ・パチスロ「リング」シリーズで販売台数を伸ばし、増収・増益を確保しました。

売上高



営業利益

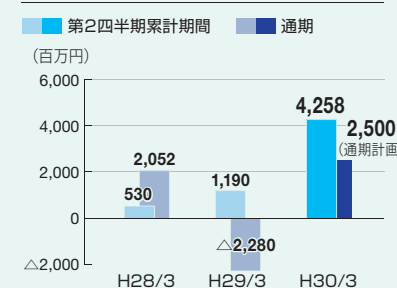


前年同期比

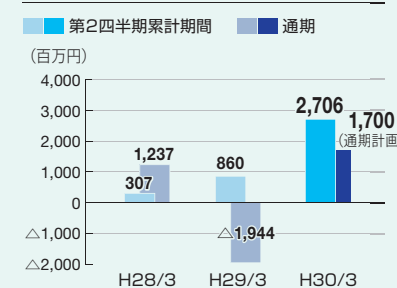
売上高・各利益の増加

販売状況がおおむね順調に推移したことが主な要因です。

経常利益



四半期(当期)純利益



前年同期比

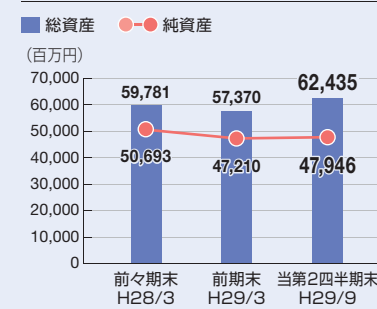
流動資産の増加

現金及び預金・有価証券、売上債権の増加が主な要因です。

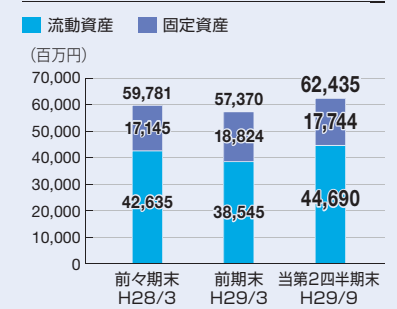
流動負債の増加

仕入債務、未払法人税等の増加が主な要因です。

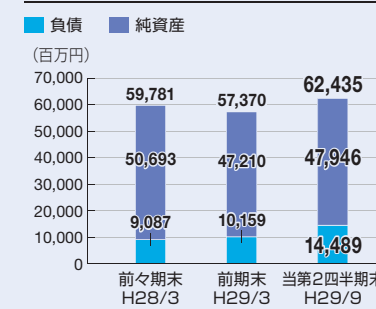
総資産/純資産



資産合計



負債純資産合計



上半期の主な発売機種

Main Lineup

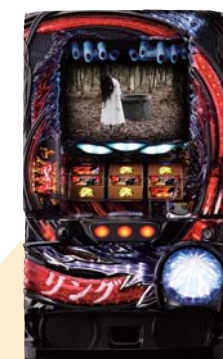
CRリング 終焉ノ刻



©1999鈴木光司 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店
©1998「リング」[らせん]製作委員会
©1999「リング2」製作委員会

平成29年6月発売

パチスロ リング 終焉ノ刻



©1998「リング」[らせん]製作委員会

平成29年5月発売

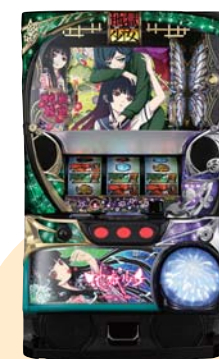
パチスロ 世界でいちばん強くなりたい!



©ESE/世界でいちばん強くなりたい!製作委員会

平成29年7月発売

パチスロ 地獄少女 宵伽(よいのとき)



©地獄少女プロジェクト/宵伽製作委員会

平成29年8月発売

藤商事パチンコ・パチスロ遊技機 オリジナル楽曲配信開始

これまで多くのファンの皆様よりご要望をいただいております遊技機に採用したオリジナル楽曲につきまして、楽曲配信サービス各社より配信を開始しました。

詳細につきましては、当社ホームページ「オリジナル楽曲有料配信コーナー」をご覧ください。



<https://www.fujimarukun.co.jp/sound>

自己株式100万株を取得(平成29年7月31日)

資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行および株主への利益還元を目的として、自己株式100万株の取得を実施しました。

スマートフォン向けゲームアプリ 『23/7 トゥエンティー スリー セブン』 東京ゲームショウにブース出展 (平成29年9月21日～24日)

東京ゲームショウ2017にて今冬配信予定のスマートフォン向けゲームアプリ『23/7 トゥエンティー スリー セブン』ブースを出展しました。ゲームキャラクター「ウォーダン」の声優を務められる「松平 健」氏が出演するなどのイベントを催し、多くの来場者の皆様に足を運んでいただきました。



会社概要・株式の状況 (平成29年9月30日現在)

会社概要

設立 昭和41年10月1日
本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
従業員数 469名
事業内容 遊技機(パチンコ・パチスロ機)の
開発・製造・販売
デジタルコンテンツの企画・開発・
販売・配信

役員

代表取締役会長 松元 邦夫
代表取締役副会長 松元 正夫
代表取締役社長 井上 孝司
取締役 米田 勝己
取締役 當今 信秀
取締役 坪山 浩一郎
取締役 川添 嗣夫
取締役 水嶋 延和
常勤監査役 上垣内 崇夫
常勤監査役 堀 弘二
監査役 川 島 育也

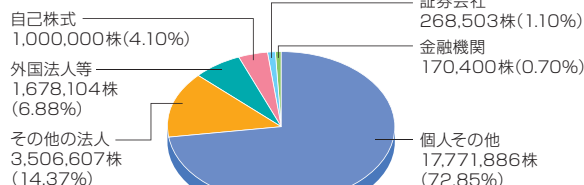
事業所

名古屋事業所(名古屋工場および開発部)
東京開発事業所
仙台支店 横浜営業所
埼玉支店 八王子営業所
東京支店 静岡営業所
名古屋支店 金沢営業所
大阪支店 京都営業所
福岡支店 神戸営業所
札幌営業所 広島営業所
青森営業所 高松営業所
高崎営業所 熊本営業所
千葉営業所 鹿児島営業所

株式の状況

1) 発行可能株式総数 80,000,000株
2) 発行済株式の総数 24,395,500株
3) 株主数 7,896名

所有者別株主分布



4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	6,156,000	25.23
松元 正夫	6,062,600	24.85
株式会社松元ホールディングス	2,900,000	11.89
松元 香揚子	700,000	2.87
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	508,894	2.09
サン電子株式会社	290,800	1.19
藤商事従業員持株会	273,300	1.12
松元 恵子	260,000	1.07
吉田 嘉明	217,000	0.89
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	159,500	0.65

(注)上記のほか、自己株式が1,000,000株あります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要がある時は、予め公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載致します。
(<http://www.fujimarukun.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。